

<メディアウオッチ> 報道されない消費税の「カラクリ」 齋藤貴男氏が指摘

上出 義樹

野田佳彦首相が「政治生命をかける」と公言する消費税増税は、波乱含みながら、自民党とマス・メディアの後押しで今国会での法案可決に向け、強引に突き進んでいる。

朝日、読売、毎日などの主要全国紙は一貫して、消費税が「避けて通れない税制度」であるかのような論調を展開。社会保障・税一体改革の担当閣僚である岡田克也副総理の定例会見などでも、新聞やテレビの記者からは枝葉末節の質問が多く、消費税の問題点にメスを入れるような骨太の質問はほとんど聞かれない。

こうした中で、マス・メディアが報じない消費税の悪しき仕組みに鋭く切り込む発信を続けているのが、ジャーナリストの齋藤貴男氏。齋藤氏の著書「消費税のカラクリ」（講談社現代新書 2010 年）のほか、最近の講演会やメディアでの発言などから、同氏の消費税批判のポイントを紹介する。

「みんなで負担」はまやかし 大企業だけが得をする不公平税制

齋藤氏は、1958 年東京都生まれ。早大卒業後、日本工業新聞記者、「週刊文春」記者などを経て独立。「機会不平等」（文春文庫）「梶原一騎伝」（同）、「ルポ改憲潮流」（岩波新書）、「経済学は人間を幸せにできるのか」（平凡社）など著書多数。最新作は今年 5 月末に刊行した『『東京電力』研究 排除の系譜』（講談社）。

ジャーナリストとして大活躍している齋藤さんだが、「消費税のカラクリ」だけは全国紙などの書評欄にはついに一度も掲載されず、「大新聞では消費税への反対論は認められないということなのかと感じた」と言う。

その齋藤氏は、政府が消費税を「みんなで薄く広く負担する税金」と大宣伝していることに対し、「実際は大企業だけがトクをする不公平な税制」と指摘。「ふつう、消費税の問題点と言えば、貧困層ほどシワ寄せが大きい逆進性と、増税による景気の冷え込みなどが、よく取り上げられる。しかし、新聞やテレビがほとんど伝えない不公平なカラクリこそが消費税問題の核心」と強調する。

異常に多い納税滞納額 中小零細業者の首を絞める無理な仕組み

消費税の「カラクリ」の説明として、齋藤氏がまず挙げるのが、他の国税に比べて圧倒的に多い消費税の滞納額。国税庁の統計によると、2008 年度に新たに発生した国税の滞納額は全税目で 8988 億円。このうち 1 位の消費税は前年度比 3・4%増の 4118 億円で全体の 45%強を占め、2 位の法人税約 1835 億円、3 位の申告所得税 1681 億円などを大きく引き離している。国税の全徴収額（予算ベース）に占める消費税の比率が、法人税の 30%や源泉所得税の 24%を下回る 19%であることを考えると、滞納額の異常さが際立つ。

齋藤氏は「消費税を払わない悪質な業者がいるから滞納額が増える、と税務当局は説明するが、消費税自体がもともと無理があり過ぎる税制度」と指弾する。

トヨタ自動車には年間 3200 億円もの還付金

その理由を齋藤氏は、「所得税と違い、赤字でも払わなければならないのが消費税。しかし、競争力の弱い中小零細業者は価格に転嫁できず、結局、経営が行き詰まってしまう」と説明。税率が 10% になれば廃業が続出し、自殺も失業も激増。国のかたちが変わってしまうだろう」と警告する。

消費税は消費者だけが払うのではなく、卸しや外注など、原則としてすべての取引に課せられ、支払った消費税は経費として認められる。このため、納品先から消費税を回収できない輸出品には消費税の還付制度があり、齋藤氏によると、2007 年度にトヨタ自動車は 3219 億円の還付を受けている。

2 大政党と大手メディアが一体で増税推進

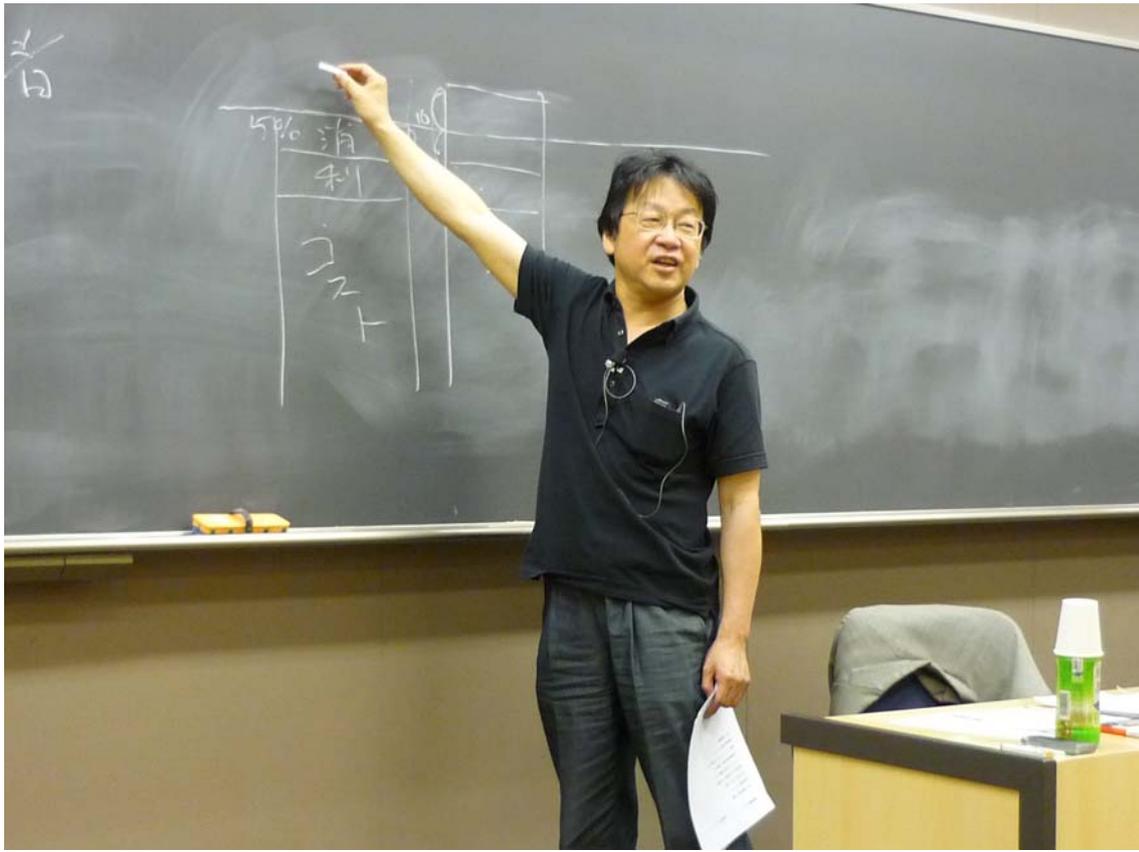
齋藤氏は、「法人税減税の財源にもなる消費増税は大企業にはメリット大きい。民主党政権と自民党は、争っているようで結局、財界と米国への忠誠競争をしている。大手メディアがそれに味方するのも異常」と指摘。2 大政党とマス・メディアが事実上一体となって推進する消費税増税シフトを厳しく批判している。

「社会保障の財源には最もふさわしくない税金」

最後に、「消費税のカラクリ」の本文から抜粋され裏表紙に載っている齋藤氏の言葉を紹介し、この原稿を締めくくりたい。

「消費税とは弱者のわずかな富をまとめて強者に移転する税制である。…大口の雇用主に非正規雇用を拡大するモチベーションを与えて、ワーキング・プアを積極的かつ確信犯的に増加させた。…これ以上の税率引き上げは自営業者の廃業や自殺を加速させ、失業率の倍増を招くことが必定だ。…消費税は最も社会保障の財源にふさわしくない税目なのである」

(かみで・よしき) 北海道新聞で東京支社政治経済部、シンガポール特派員、編集委員などを担当。現在フリーランス記者。上智大大学院博士課程(新聞学専攻)在学中。



「消費税のカラクリ」をテーマに講演する斎藤貴男さん（2012年5月18日、東京・千代田区の明治大学リバティータワーで）